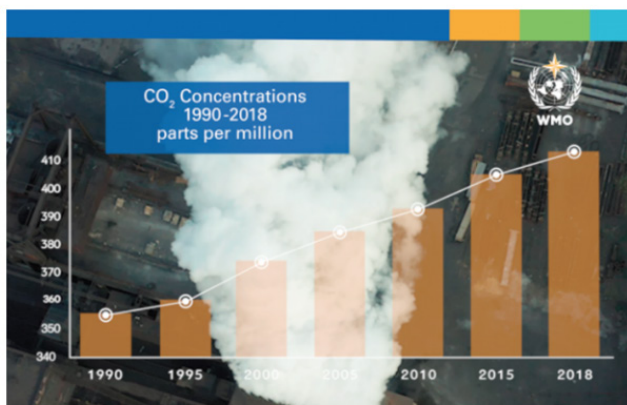


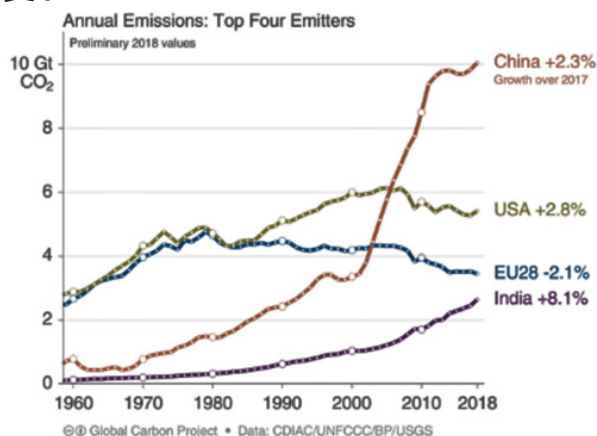
気候変動に関するデータ

CO₂量の変化



世界全体の CO₂ 濃度の推移

2018 年においては 407.8ppm の最高値を記録した。
 (参考資料：WMO プレスリリース『Greenhouse gas concentrations in atmosphere reach yet another high』)

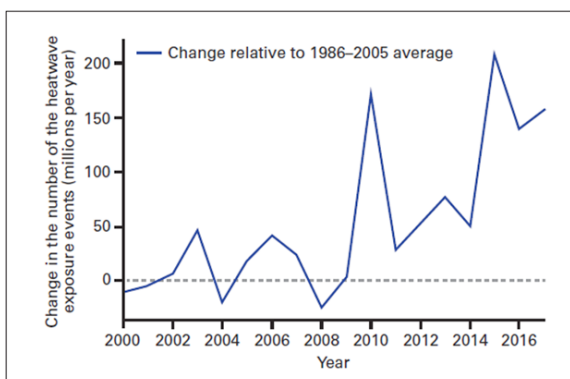


国ごとの CO₂ 排出量の推移

ヨーロッパは排出量が減った。インドは年間増加率が 5% を超えている。

(参考資料：by the Science Advisory Group of the UN Climate Action Summit 2019 『United In Science』)

気候変動による熱波・猛暑の人々への影響

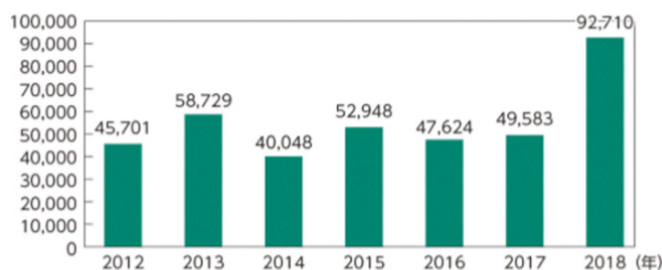


世界の熱波被害者数

1986 年～2005 年の平均熱波被害者数（破線）と比較している。

(参考資料：WMO 『The Global Climate in 2015-2019』)

熱中症搬送人員の年別推移（6月～9月）



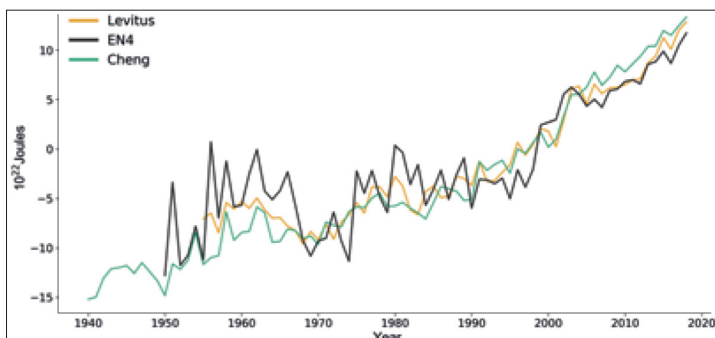
注：2014 年までは 5 月分の調査を行っていないため、年別推移のグラフは 6～9 月で作成した。

日本の熱中症の救急搬送者数の推移

2018 年 5 月～9 月の全国における熱中症による救急搬送人員は累計前年に比べ、42,153 人増加した。

(参考資料：環境省『環境白書 循環型社会白書 / 生物多様性白書 令和元年版』)

海への影響



世界の海洋表層貯熱量 (OHC) の推移

3 つの調査書（それぞれの線）の 1981 年～2010 年と比較した 700 M 深度の OHC を示している。2018 年が最も高く、2 位が 2017 年、3 位が 2015 年である。

(参考資料：WMO 『The Global Climate in 2015-2019』)

(事務局作成)